

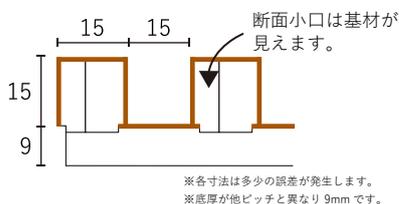
不燃仕様 - 内装制限対応品

かくやま

角山 30P-FL+EM



断面図 (mm)



定尺 (mm)・定価 (税抜)

W300×L1800× t 24 質量：約 7.5 kg
¥ 40,500/枚

W300×L2400× t 24 質量：約 10kg
¥ 54,000/枚

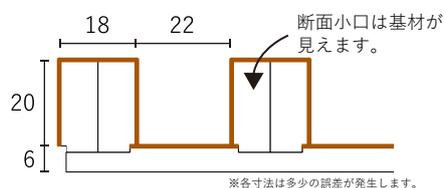
※一部ツキ板によっては価格が異なります。

かくやま

角山 40P-FL+EM



断面図 (mm)



定尺 (mm)・定価 (税抜)

W280×L1800× t 26 質量：約 6kg
¥ 40,500/枚

W280×L2400× t 26 質量：約 8kg
¥ 54,000/枚

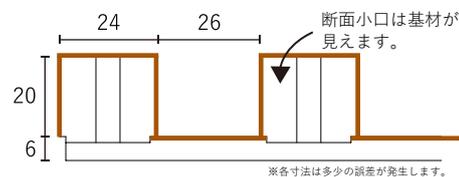
※一部ツキ板によっては価格が異なります。

かくやま

角山 50P-FL+EM



断面図 (mm)



定尺 (mm)・定価 (税抜)

W300×L1800× t 26 質量：約 7 kg
¥ 40,500/枚

W300×L2400× t 26 質量：約 10kg
¥ 54,000/枚

※一部ツキ板によっては価格が異なります。

セット取り対応品

W280_{mm} を 2 枚購入する場合、2 枚目のみ W320_{mm} (1 ピッチ分サービス) にてご購入可能です。
(W600_{mm} の原板を使用しているため、セット取り対応が可能です)

エコロジーな内装材

基材の火山性ガラス質複層板は鉄鉱スラグ（鉱石母岩の鉱物成分などを含む物質）を原料にしたロックウール（鉱物繊維）と火山性ガラス質材料（シラス）によって、つくられています。

主原料は自然界にあるもので、あまり有効活用されていないシラスを使用していることから、エコロジーな素材といえます。

また、表面材のツキ板も計画植林されたもの、適正に伐採・管理・加工されたツキ板を仕入れています。

確認してください 製品の仕様上、下材が見えることがあります。



株式会社 サカイ

<https://sakairib.com>

🔍 サカイリブ

(ご注文お見積もりはこちらへ)

本社 〒811-0203 福岡県福岡市東区塩浜 1-27-24 T: ☎ 0120-07-7810 F: ☎ 0120-96-9433

MAIL ✉ sakairib@sakairib.com

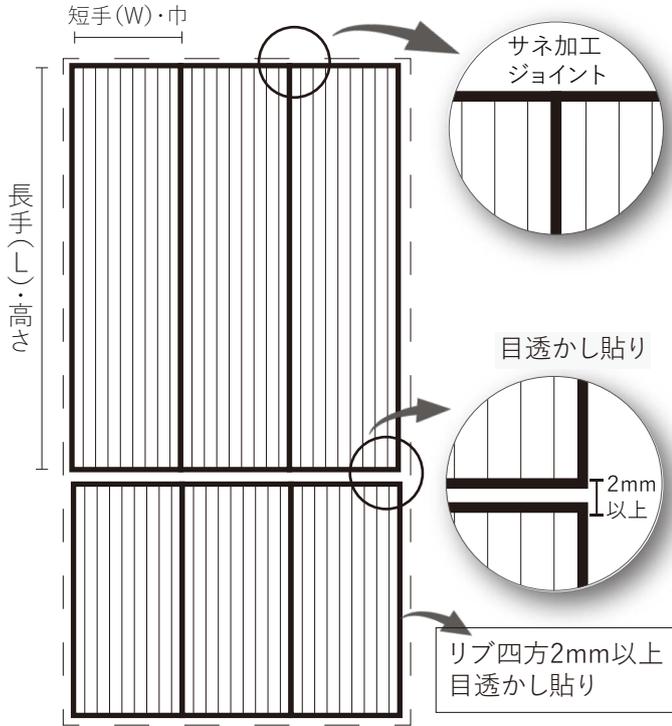
(担当者不在の場合がありますので事前にご予約下さい)

東京ショールーム 〒151-0061 東京都渋谷区初台 1-29-13-BELAIR Kato101 T: 03-6300-4341

不燃角山FL+EMに関する注意事項

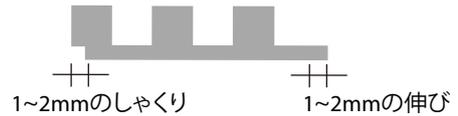
施工上の注意点

本製品は火山性ガラス質複層版(ダイライト)素材です。寸法変化によって目地部分が浮き上がったり、目ずきが起こる可能性があります。ジョイントに関して以下をご参考ください。



長手同士のジョイント

長手同士のジョイント時は、サネ加工(下図参考)を利用することでジョイント部を目立ちにくく仕上げることができます。



短手同士のジョイント

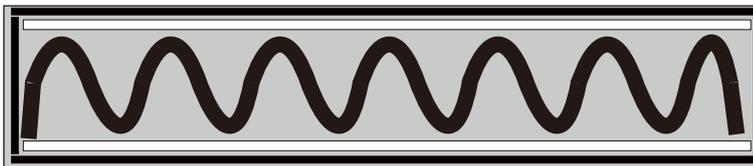
寸法変化によって目地部分が浮き上がったり、目ずきが起こる可能性があります。

また製品製作上、ジョイント時に山のピッチはピッタリ合いません。

2ミリ以上の目透かし貼りを推奨いたします。

※目透かし部分が目立たないように、商品と同材のツキ板(無塗装)を同梱致します。リブと同色塗装し、ジョイント目地部にご使用ください。

[両面テープの貼り付け・接着剤の塗付]



注) 2次接着剤は、反り・剥がれ防止の為外周も必ず塗布願います。

[推奨品]

セメダイン(株)

備考

1次接着〈両面テープ〉		ボードテープ 310	(目安) 5m / m ²
2次接着〈接着剤〉		ボードロック 310 (夏場推奨) ボードロック SF (冬場推奨)	カートリッジタイプの変成シリコン系 もしくはエポキシ系の接着剤 (目安) 333ml 1本 / m ²

- 水気や湿気が多い場所、頻繁に水がかかる場所は施工しないでください。
- 下地は石膏ボード・ケイ酸カルシウム板・合板下地が最適です。
- 下地には不陸がないこと、乾燥していることを確認してから施工してください。
- コンクリート・モルタルは非推奨です。(下地の不陸・乾燥状態により、仕上げ材に不具合が生じる可能性があるため)
- 天井や3m以上の壁面でご使用の際は、落下防止の為、接着剤とビス併用で使用してください。
- 加工は取付面寸法にに合わせてノコ(デコラ用がお勧め)でカットし、削り仕上げはサンドペーパー、手カンナをお願い致します。

塗装上の注意

- 塗装またはそのまま使用することが可能ですが、表面をコーティングする観点から塗装仕上げを推奨しています。
- 吸い込みの状況を確認しながら、3回程度着色・塗装してください。形状的に溝底に塗料がたまりやすいため、1度で仕上げず、薄く塗り重ねてください。

メンテナンス

- 乾拭きまたは固く絞ったウエスなどで拭いてください。シンナーなどの溶剤は使用しないでください。